



平成三〇年度秋田県消防功勞者表彰式



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成三〇年度秋田県消防功勞者表彰式は秋田県及び一般財団法人秋田県消防協会の主催により、三月一四日(木)午後一時半から、秋田県庁第二庁舎(秋田市山王)で受章者など二〇〇人が出席し開催されました。式典は、最初に堀井啓一秋田県副知事が式辞を述べた後、消防庁長官表彰として功勞章、永年勤続功勞章、賞状の伝達に引き続き、消防庁表示証伝達が行われたほか、日本消防協会定例表彰として、表彰旗、竿頭綬、功績章、精績章がそれぞれ伝達されました。

続いて、中田潤秋田県消防協会長の挨拶、来賓を代表して竹下博英秋田県議会副議長長の祝辞があり、最後に受章者を代表して板倉吉孝・三種町消防団副団長が謝辞を述べました。

☆表彰者名簿は、一〜三頁に掲載。



受章者代表謝辞



日本消防協会会長表彰伝達



消防庁長官表彰伝達

平成三十二年全国統一防火標語
ひとつずつ
いいね!で確認
火の用心

消防庁長官表彰

◆特別功勞章 (2名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令 藤 田 大 志 能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令補 佐 藤 翔

◆功 勞 章 (2名)

秋田市消防本部 消防正監 佐 藤 好 幸 秋田市消防本部 消防 監 清 野 洋 一

◆永年勤続功勞章 (81名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防正監 鈴 木 良 則 秋田市消防本部 消防 監 越後屋 光 晴
能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防 監 佐 藤 浩 司 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防 監 高 橋 幹 夫

大館市消防本部	消 防 監	三 浦 勝 彦	五城目町消防本部	消防司令長	伊 藤 豊
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	大 友 佳 人	大館市消防本部	消防司令長	岡 森 淳 孝
秋田市消防本部	消防司令長	片 岡 哲 郎	由利本荘市消防本部	消防司令長	鎌 田 明 美
横手市消防本部	消防司令長	鎌 田 広 行	由利本荘市消防本部	消防司令長	木 内 謙 一
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	小 松 一 智	男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	近 藤 重 美
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	今 野 完 司	秋田市消防本部	消防司令長	相 楽 裕
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	須 田 秀 樹	男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	関 金 哉
大館市消防本部	消防司令長	田 中 良 悦	北秋田市消防本部	消 防 司 令	木 村 誠 一
湖東地区行政一部事務組合消防本部	消 防 司 令	小 林 孝 志	能代山本広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	田 代 和 秋
由利本荘市消防団	副 団 長	阿 部 一 彦	横手市平鹿消防団	副 団 長	飯 野 正 和
三種町消防団	副 団 長	板 倉 吉 孝	横手市横手消防団	副 団 長	伊 藤 一 男
湯沢市消防団	副 団 長	近 野 仁	横手市十文字消防団	副 団 長	佐 藤 賢 一
潟上市消防団	副 団 長	菅 原 権 一 郎	秋田市消防団	副 団 長	高 橋 清 功
五城目町消防団	副 団 長	千 葉 與 右 工 門	秋田市消防団	副 団 長	保 泉 隆
仙北市消防団	分 団 長	赤 坂 透	仙北市消防団	分 団 長	油 谷 重 和
湯沢市消防団	分 団 長	阿 部 千 代 志	大館市消防団	分 団 長	阿 部 之 義
大仙市消防団	分 団 長	池 田 秀 典	大館市消防団	分 団 長	石 田 富 弥
井川町消防団	分 団 長	伊 藤 弘 行	湯沢市消防団	分 団 長	奥 山 優 一
北秋田市消防団	分 団 長	春 日 美 津 久	三種町消防団	分 団 長	加 藤 博 美
由利本荘市消防団	分 団 長	金 森 久 雄	秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 勇
秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 均	潟上市消防団	分 団 長	鎌 田 洋 之
大潟村消防団	分 団 長	菊 地 克 浩	秋田市消防団	分 団 長	菊 地 公 明
横手市大森消防団	分 団 長	菊 地 寛 之	羽後町消防団	分 団 長	小 坂 俊 三
八郎潟町消防団	分 団 長	齊 藤 隆 男	大仙市消防団	分 団 長	佐々木 久
藤里町消防団	分 団 長	佐々木 文 孝	能代市消防団	分 団 長	佐々木 光 夫
羽後町消防団	分 団 長	佐 藤 寛 悦	大館市消防団	分 団 長	佐 藤 憲 一
能代市消防団	分 団 長	佐 藤 正 幸	横手市大雄消防団	分 団 長	佐 藤 通 洋
大仙市消防団	分 団 長	高 貝 真 吾	湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 克 己
横手市増田消防団	分 団 長	高 橋 剛	美郷町消防団	分 団 長	高 橋 剛
湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 政 介	鹿角市消防団	分 団 長	高 橋 実
由利本荘市消防団	分 団 長	田 口 隆	能代市消防団	分 団 長	田 中 徹
男鹿市消防団	分 団 長	千 釜 一 憲	大館市消防団	分 団 長	殿 村 研 一
男鹿市消防団	分 団 長	中 田 金 悦	仙北市消防団	分 団 長	新 山 仁
北秋田市消防団	分 団 長	野 呂 輝 美	横手市雄物川消防団	分 団 長	長 谷 川 裕 美
大館市消防団	分 団 長	日 景 光 男	八峰町消防団	分 団 長	三 浦 務
男鹿市消防団	分 団 長	湊 博 光	北秋田市消防団	分 団 長	宮 野 一 俊
鹿角市消防団	分 団 長	湯 瀬 誠 喜	大仙市消防団	分 団 長	渡 邊 敏 雄
大仙市消防団	副 分 団 長	菅 原 隆 弘	大仙市消防団	副 分 団 長	富 岡 光 一
小坂町消防団	副 分 団 長	中 村 郁 夫			

◆竿 頭 綬 (1 消防機関・1 消防団)

五城目町消防本部・五城目町消防団

◆賞状 (4 団体)

秋田県総務部 総合防災航空隊 秋田市消防本部
 能代山本広域市町村圏組合消防本部 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消 防 庁 表 示 証

◆消防団協力事業所表示証 (1 事業所)

株式会社大森土木

秋 田 県 知 事 表 彰

◆功労章及び表彰状を授与する表彰 (2名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令 藤田大志 能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令補 佐藤 翔

日 本 消 防 協 会 長 表 彰

◆表 彰 旗 (1消防団)

大仙市消防団

◆竿 頭 綬 (3消防団)

大館市消防団・横手市十文字消防団・横手市大雄消防団

◆特別功労章 (2名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令 藤田大志 能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令補 佐藤 翔

◆功 績 章 (19名)

鹿角市消防団	分 団 長	大 西 照 雄	大館市消防団	副 団 長	石 川 久 晴
大館市消防団	部 長	小 畑 和 子	北秋田市消防団	団 長	藤 田 久 悦
三種町消防団	分 団 長	加 藤 博 美	能代市消防団	分 団 長	佐 藤 正 幸
八郎瀧町消防団	団 長	渡 部 壽 一	井川町消防団	副 団 長	児 玉 武 夫
秋田市消防本部	消 防 監	佐々木 洋 行	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	坂 本 聖 樹
由利本荘市消防団	副 団 長	佐 藤 義 一	由利本荘市消防団	副 団 長	坂 田 充
仙北市消防団	団 長	藤 島 絹 雄	美郷町消防団	副 団 長	斉 藤 一 夫
横手市平鹿消防団	副 団 長	福 岡 馨	横手市十文字消防団	団 長	柴 田 和 久
横手市十文字消防団	副 団 長	齋 藤 和 夫	湯沢市消防団	分 団 長	金 澤 義 博
湯沢市消防団	分 団 長	阿 部 千 代 志			

◆精 績 章 (46名)

鹿角市消防団	分 団 長	田 口 義 博	小坂町消防団	分 団 長	阿 部 幸 雄
大館市消防団	副 団 長	武 田 博 康	大館市消防団	副 団 長	菅 原 新 一
大館市消防団	分 団 長	虻 川 兵 悦	大館市消防団	副 分 団 長	畠 山 留 美 子
北秋田市消防団	副 団 長	長 岐 邦 雄	上小阿仁村消防団	分 団 長	高 田 恒
能代市消防団	分 団 長	吉 田 孝 悦	能代市消防団	分 団 長	成 田 義 紀
三種町消防団	分 団 長	児 玉 隆	三種町消防団	分 団 長	三 浦 広 正
男鹿市消防団	副 団 長	佐 藤 和 春	瀧上市消防団	副 団 長	吉 田 初
八郎瀧町消防団	副 団 長	北 嶋 透 志 雄	井川町消防団	分 団 長	伊 藤 弘 行
秋田市消防本部	消 防 司 令	金 公 一	秋田市消防本部	消 防 司 令	池 田 正 史
秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 正	秋田市消防団	分 団 長	石 井 新 一
秋田市消防団	分 団 長	進 藤 誠 輝	秋田市消防団	副 団 長	戸 井 田 喜 美 雄
由利本荘市消防団	分 団 長	渡 辺 静 一	由利本荘市消防団	分 団 長	田 口 隆
由利本荘市消防団	分 団 長	東 海 林 優	由利本荘市消防団	分 団 長	村 上 康 浩
にかほ市消防団	分 団 長	佐々木 達 行	にかほ市消防団	分 団 長	佐 藤 政 昭
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	齊 藤 聡	美郷町消防団	分 団 長	中 野 龍 一
大仙市消防団	副 団 長	大 友 金 己 知	大仙市消防団	副 団 長	高 橋 文 雄
仙北市消防団	副 団 長	佐 藤 乃 三	仙北市消防団	副 団 長	福 岡 克 巳
横手市消防本部	消 防 司 令 長	佐 藤 靖 広	横手市横手消防団	副 団 長	高 橋 広 三
横手市平鹿消防団	副 団 長	飯 野 正 和	横手市大雄消防団	副 団 長	小 松 雅 樹
横手市横手消防団	副 団 長	伊 藤 一 男	横手市山内消防団	分 団 長	佐 藤 良 雄
湯沢市消防団	分 団 長	後 藤 英 輝	羽後町消防団	分 団 長	小 坂 俊 三
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	鈴 木 邦 亮	湯沢市消防団	副 分 団 長	柴 田 長 悦
湯沢市消防団	副 分 団 長	岩 城 栄 悦	湯沢市消防団	副 分 団 長	佐 々 木 成

指揮幹部科現場指揮課程
第二期を実施しました

大規模災害に対応できる教育訓練の指揮者となる部長又は部長と同等の実務経験を有する班長、副分団長及び分団長を対象とした、消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程を三月一六日(土)から一七(日)まで秋田県消防学校において実施しました。

本課程は、部隊をとりまとめる知識・技術の修得を図ることを目的とし、昨年度新設されました。

また、研修人員も一〇名増となり、研修課程の重要性が求められていると感じました。

参加の団幹部の皆さんは、真剣な取り組みで訓練に励み現場指揮者としての職責の自覚、規律はもちろん、的確な現場指揮及び安全管理を行うための能力向上の目的を達成し修了しました。



ガンズルによる放水訓練(防火衣完全着装)



エンジンカッターによる切断訓練

第2期 入校者名簿

消防団名	階 級	氏 名
鹿角市消防団	部 長	成 田 良 弥
男鹿市消防団	部 長	中 田 巻 雄
男鹿市消防団	部 長	進 藤 求
秋田市消防団	部 長	小 野 豊
秋田市消防団	部 長	高 橋 敬 司
秋田市消防団	部 長	松 江 久 人
秋田市消防団	部 長	高 橋 一
秋田市消防団	部 長	伊 藤 一 義
由利本荘市消防団	部 長	三 船 一 幸
由利本荘市消防団	部 長	石 崎 仁
由利本荘市消防団	部 長	山 田 利 幸
由利本荘市消防団	部 長	田 口 良 夫
由利本荘市消防団	副分団長	佐 藤 正 樹
由利本荘市消防団	班 長	村 上 慎 悦
由利本荘市消防団	部 長	佐々木 千 秋
にかほ市消防団	部 長	河 野 悦 郎
にかほ市消防団	部 長	鳥 潟 秀 樹
にかほ市消防団	班 長	高 橋 俊 弘
湯沢市消防団	部 長	宮 原 誠
湯沢市消防団	部 長	今 三智雄
湯沢市消防団	部 長	伊 藤 文 雄
湯沢市消防団	班 長	高 橋 昇
東成瀬村消防団	部 長	佐々木 和 仁



コンピツールによる切断訓練



救助・救命訓練

平成31年度主な事業計画

事業項目	実施時期
第1 消防思想普及啓発事業	
1. 火災予防運動の推進	年間
2. 防火ポスターコンクールの実施	平成31年6月～
3. 殉職者慰霊に関する事業	
(1) 秋田県殉職消防職・団員慰霊祭	平成31年9月3日
(2) 全国消防殉職者慰霊祭	平成31年9月12日
4. 広報紙の発行とホームページの開設	
(1) 新聞「消防秋田」の発行	毎月1回(1,100部)
(2) ホームページでの情報提供	年間
第2 地域消防防災力向上推進事業	
1. 消防団員の教養研修	
(1) 現地教養研修の実施	年間
(2) 秋田県消防大会の開催(由利本荘市)	平成31年6月22日
(3) 各種研修会等への参加	
・全国女性消防団員活性化青森大会	平成31年9月19日
・女性消防団員教育	平成31年10月19日～20日
・消防団員指導員研修	平成31年11月16日～17日
・消防団幹部特別研修	平成32年1月21日～24日
・消防団幹部候補中央特別研修(男性)	平成32年2月5日～7日
・消防団幹部候補中央特別研修(女性)	平成32年2月19日～21日
2. 消防操法大会の開催	
(1) 秋田県消防操法大会	平成31年8月24日
(2) 全国女性消防操法大会(横浜市)	平成31年11月13日
3. 消防団活動の活性化	
(1) 女性消防団ネットワーク会議の開催	平成31年11月
(2) 消防団長研修	平成31年12月6日
(3) 若手消防団員活性化推進会議	年3回開催
第3 消防職団員福利厚生事業	年間
第4 消防互助会事業	年間
第5 会議の開催	
(1) 定時評議員会	平成31年5月30日
(2) 理事会	年3回開催
(3) 会計監査	平成31年4月19日
(4) 消防実務担当者会議	平成31年6月7日

秋田県消防協会第三回理事会が三月一四日(木)、秋田市の「ルポールみずほ」で開催され、平成三十一年度事業計画(案)や収支予算(案)などが承認されたほか、「消防互助会規程施行規則の一部改正」等について協議しました。

**平成三十一年度
事業計画・収支予算
承認される**
秋田県消防協会

平成31年度収支予算

(単位：円)

勘定科目・主な事業費	予算額
事業活動収入計	30,125,300
消防互助会掛金	5,400,000
事業収入	291,000
補助金等	11,788,000
負担金	6,585,000
年会費	5,550,000
その他収入	511,300
事業活動支出計	31,725,000
火災予防運動の支部活動費	900,000
消防思想普及啓発費	2,545,000
秋田県消防大会費	891,000
女性消防団員研修費	176,000
秋田県消防操法大会費	1,533,000
支部消防操法大会助成費	900,000
全県消防団長研修会費	326,000
女性消防団ネットワーク会議費	460,000
消防互助会見舞金支出	1,500,000
その他支出	22,494,000
当期一般正味財産増減	△ 1,599,700
一般正味財産期首残	110,000,000
一般正味財産期末残	108,400,300
基本財産	3,000,000

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 **能代消防センター**
 株式会社 **協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52) 6494
 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
 猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

特別研修に参加して

日本消防協会が主催する第四五回消防団幹部特別研修及び第一八回消防団幹部候補中央特別研修は、日本消防会館(東京都港区虎ノ門)において実施されました。

本県から参加した五名の受講者から報告がありましたので紹介します。

消防団幹部特別研修



秋田市消防団
団長 大島 昌 良

平成三十一年一月中旬、特別研修への参加の誉を頂きました。

会場は、東京都港区に在ります日本消防会館で、三泊四日の研修となります。

全国四七都道府県より各一名の参加で、研修内容は、事前に討議テーマを四問出題されその中から一つ選んで、六班に分かれ研修期間中に討議し、最終日に各班でその成果を発表するというものや、消防実務と東京消防署の現場見学による学習などが主なものとなっております。

初日は、各人挨拶から始まり多少堅苦しさがある面々でしたが、最後の別れの時は、数年来の知古の間柄

であるような関係となりました。

講義については、日本の気象の現状から始まり、危機管理のあり方、地震メカニズム、防火に対する手立が主な内容で、非常に内容の濃い講義でした。

また、討議の最中には、それぞれの消防団が抱える問題点や、逆に参考とすべき内容が語られ大変参考になりました。

朝の九時より夕方の五時まで、びつしり詰められた講義の後は、自ずと各班に分かれての団体行動となり、サラリーマンの拠点である新橋駅前に繰り出しました。

夕方の六時頃ともなると、主な通りは肩をぶつけ合うほどの人垣となり、閑散とした秋田とは比べものにならないほどの賑わいで、さすがは日本の中心地だなど思いました。

また、日本消防会館が在る港区虎ノ門の近隣には、アメリカ大使館を始め、総理官邸、国会議事堂、主な官公庁が点在しており、それを取り巻く民間のオフィス街は建物の建て替えによる再開発工事が盛んに進められており、景気の低迷など全く感じられない風景でした。

あつという間の研修期間でしたが、そこで得た知識を今後の地域防災に反映できたらという熱い思いが込み上げての帰郷となりました。関係者の皆様に感謝申し上げます。

消防団幹部候補中央特別研修



鹿角市消防団
班長 柳 館 慎 太郎

一月三〇日から三日間にわたり、特別研修に参加させて頂きました。全国から消防団活動に情熱を注ぐ一四一名の団員が参加し、消防団を中核とした地域防災の在り方について熱く議論を交わしました。

研修では、「防災対策」「防災情報」「危機管理」など各分野の専門化の講義を聴講し、「課題討議」では消防団活動における共通の課題についてテーマ毎に班編成をし、どのように解決に向けた取組をしているのか、また、すべきなのか討議しました。

研修に参加し、防災力、防災体制の構築(自主防災組織)が如何に重要であるかということを再認識しました。

そして、近年消防を取り巻く環境に大きな変化が見られ、対応策が課題となつている中、私達消防団への要求も多種多様になつていることを改めて感じました。

これらを踏まえ、今回の貴重な研修を今後の消防団活動に生かし、地域防災の中核を担うべく邁進してまいります。



秋田市消防団
班長 山 内 満

一月三〇日から三日間、日本消防会館で開催された消防団幹部候補中央特別研修に全国から消防団員一四一名が集う大きな研修に参加させて頂きました。

研修では、日本消防協会秋本会長の講話をはじめ、都市防災、危機管理、防災対策など各講師の講義、また、昨年七月発生した岐阜県関市の豪雨災害の活動事例などを学びました。

そして、実りある研修の一つとなつたグループ討議では、十班に分かれそれぞれ与えられた課題について、各消防団の取組や悩みなど、多方面にわたり討議をし最後の発表会では、鹿角市や我が秋田市の取組が発表されるなど、とても有意義な討議となりました。

最後に、このような機会を与えて頂いた消防協会、消防団の皆様へ感謝申し上げます。



にかほ市消防団
団員 鈴 木 恵

「第一八回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させていただきました、全

国の女性消防団員と親交を深める機会を得ることができました。

研修で行った課題討議では「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」というテーマのもと、お互いの活動を発表し合い、私は災害を減らす「減災」が地域防災力の要であることを学びました。

「防災の原点は地域にある」、「地域の連携が命を救う」、研修で学んだこれら二つの言葉を胸に、これからも地域の防災活動に尽力したいと思えます。



秋田市消防団
団員
佐々木 桃子

二月一三日から一五日まで日本消防会館で行われた「消防団員幹部候補中央特別研修」に参加させて頂きました。

初日は日本消防協会秋本会長による講話があり、ここ数年、全国で水害が多く発生しており、そうした中消防団は地域の状況に応じた即応体制が不可欠であり、また、気象庁の情報等を当てはめながら、対応する力が求められているという内容でした。

私の住む地域も大きな水害を経験しました。この研修で水害が発生したらどうするか、その後何をしたら良いのかなどを勉強することができ

ました。そして、女性団員として今まで以上にきめ細かな活動をするともに、新しい人材も必要になってくると思いました。

「助けられる人から、助ける人へ」全国の消防団員に共通する思いです。この度の研修を生かし、今後の自分のスキルアップに繋げていきたいと考えています。

評議員会・全日本消防人共済会
臨時総代会が開催される
(公財)日本消防協会

三月五日(火)午前十一時から日本消防会館において、評議員会と共済会臨時総代会が開催され、平成三一年度事業計画案や収支予算案などが全会一致で承認されました。また、午後からは第七一回日本消防協会定例表彰式に引き続き、「これからの日本消防と新日本消防会館」と題してシンポジウムが開催されました。



また、午後からは第七一回日本消防協会定例表彰式に引き続き、「これからの日本消防と新日本消防会館」と題してシンポジウムが開催されました。



勉強中の私も。ヒーローに。もしもの時の

街を守ろう。
めざめよヒーロー!

大学生
梅田 舞佳
千葉市消防団 第3分団5組
(大塚寺) 浪徳大学内

消防団員募集

総務省消防庁
消防団に関する詳しい情報は 消防団 <http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

私らしく。ヒーローに。もしもの時の

街を守ろう。
めざめよヒーロー!

浪徳大学
望月 志穂
秋田市消防団 第20分団

消防団員募集

総務省消防庁
消防団に関する詳しい情報は 消防団 <http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

支部情報アラカルト

新装オープン

「トレイクかたがみ」で

『幹部消防団員教養研修会』を開催

昨年一〇月一四日、消防団員教養研修会が潟上市「トレイクかたがみ」で開催され、男鹿地区消防本部職員が講師を務め消防団幹部二一四名が参加しました。



研修では、現場指揮を教科目として「現場指揮の現状と今後の消防団との連携について」の講義・実技を三時間にわたり受講しました。

災害発生時において、消防団は活動現場の最前線にいち早く到着し、最初の現地の災害情報に接する可能

性が高いため、消防団により得られた情報等を現場指揮本部にいち早く伝達・発信し、消防関係機関等に情報共有されることにより、強力な連携の下、的確な消防活動に繋げていく必要があること、消防団への具体的な活動の指示と安全管理の徹底が重要であること等を確認しました。



今回の会場「トレイクかたがみ」は、潟上市に昨年一〇月オープンした施設です。潟上市では健康寿命の延伸に向けた取組を進めており、運動専門スタッフが常駐しているトレーニングルームや健康教室を行う健康拠点となっております。

また、近接する防災備蓄庫には、市・県が所有する災害時備蓄物資が配備されており、防災と健康づくりを兼ね備えた施設となっております。

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成31年		平成30年			同期比較	
	3月	累計	3月	累計	年計	3月	累計
建 物	16	43	14	51	166	2	- 8
林 野	2	2	2	2	14	0	0
車 輛	0	4	2	7	39	- 2	- 3
そ の 他	3	3	11	15	72	- 8	-12
合 計	21	52	29	75	291	- 8	-23
死 者 数	1	6	2	6	18	- 1	0
負 傷 者 数	3	18	2	14	46	1	4

〔情報提供〕男鹿潟上南秋支部



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp